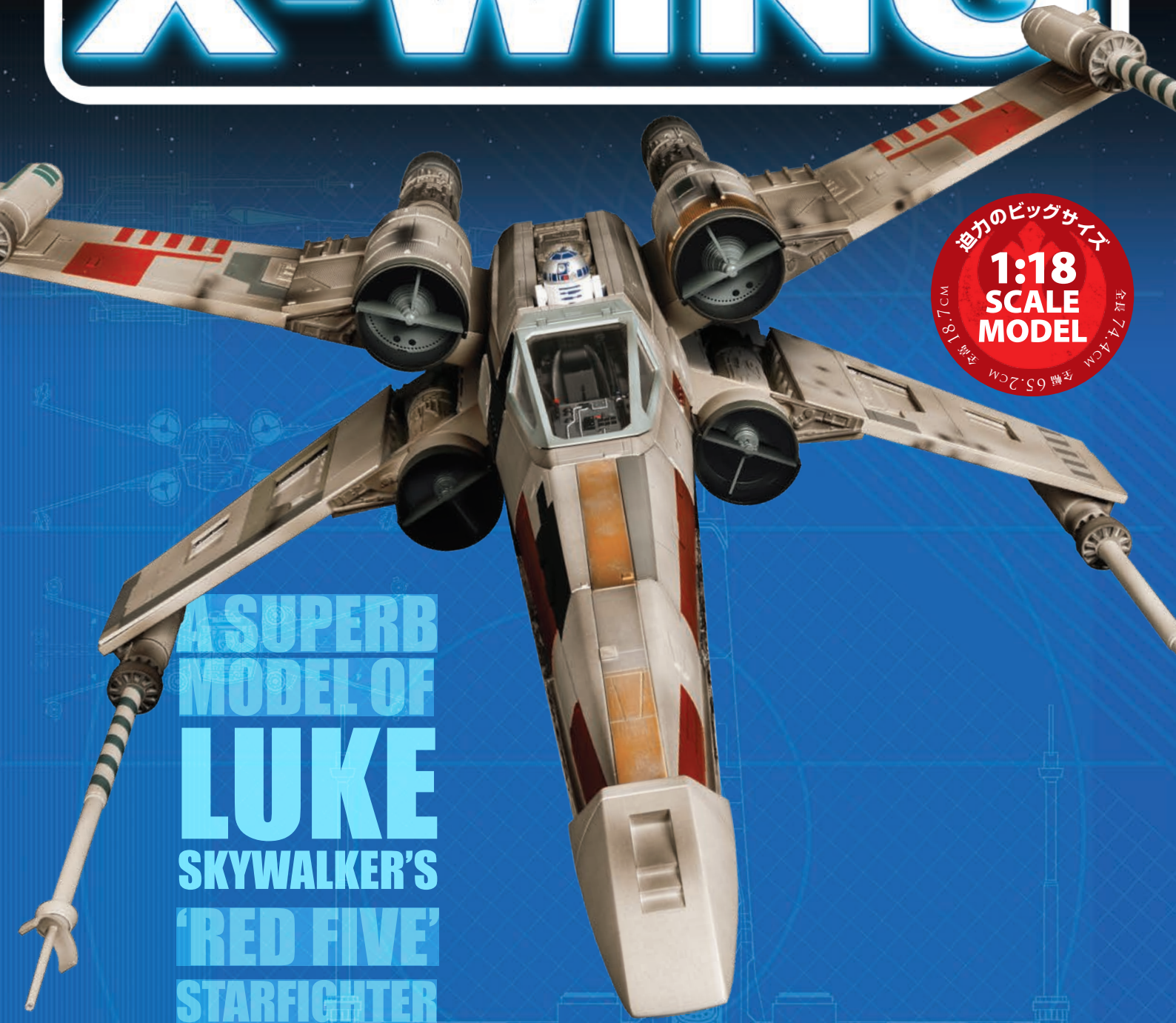


STAR WARS™

14

BUILD YOUR OWN

# X-WING



迫力のビッグサイズ  
1:18  
SCALE  
MODEL  
全長 74.4cm  
全幅 65.2cm  
全高 18.7cm

A SUPERB  
MODEL OF  
**LUKE**  
SKYWALKER'S  
'RED FIVE'  
STARFIGHTER



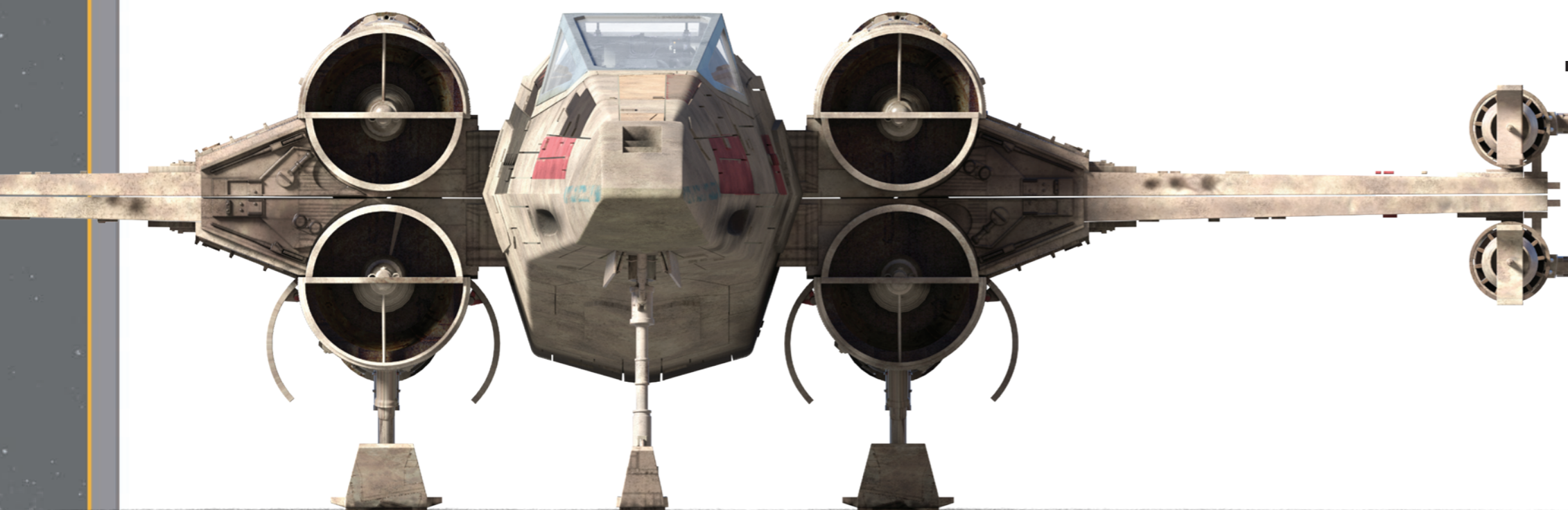
DEAGOSTINI

## 第14回配本 組立内容

<b>STAGE 53</b>	左舷上翼エンジンマウント .....	310
<b>STAGE 54</b>	左舷上翼エンジン① .....	314
<b>STAGE 55</b>	左舷上翼エンジン② .....	322
<b>STAGE 56</b>	左舷上翼エンジン③ .....	330

## エンジンマウント

T-65のエンジンマウントには大変な苦勞があった。エンジンマウントは、パワーユニットの重量とその推力を担うだけでなく、主翼とその作動機構も支えなければならない。さらにそれだけではなく、下側のマウントは足回りが着地したときに機体全体の重量を支えなければならなかった。

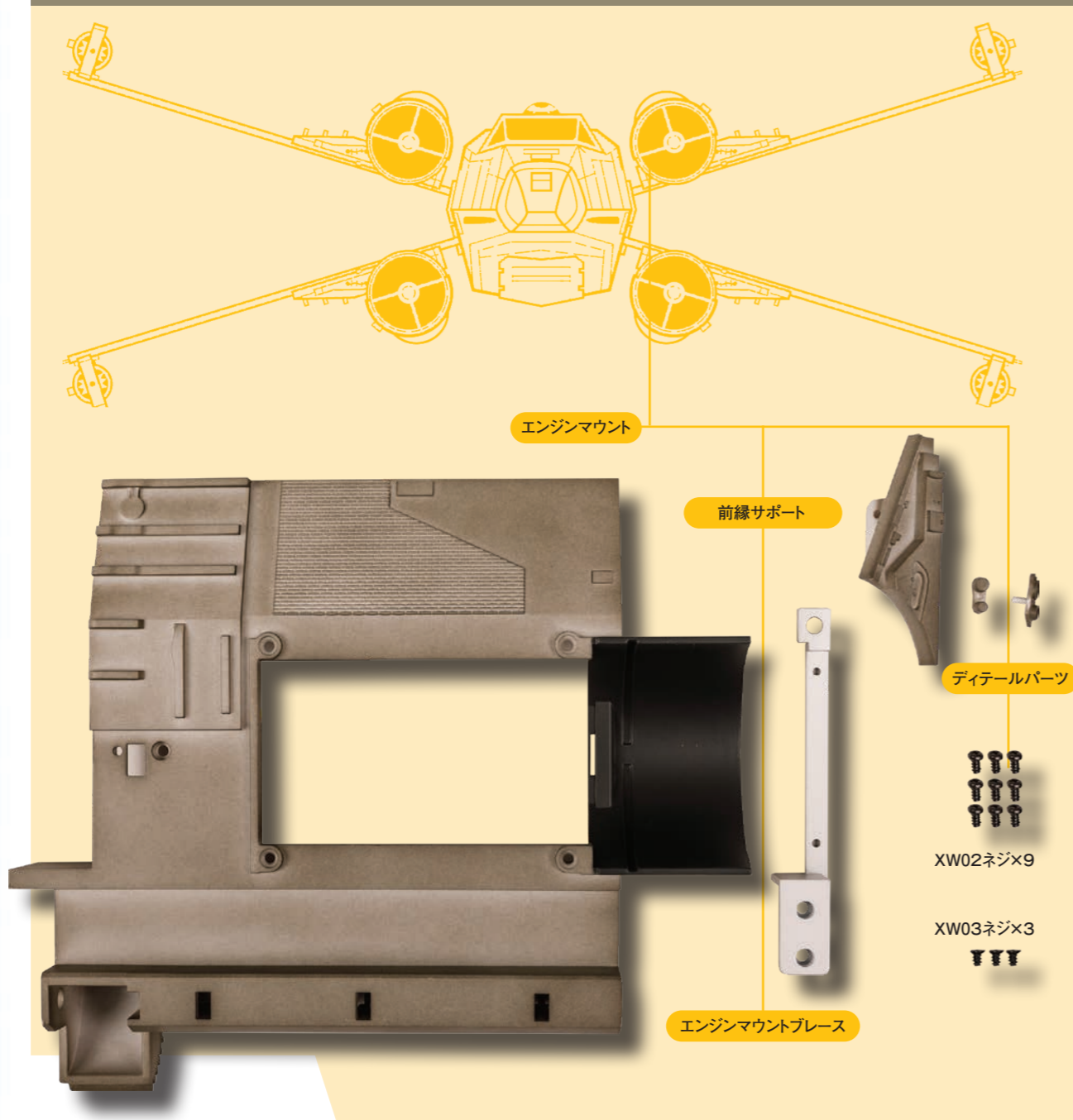


# 左舷上翼エンジンマウント

このステージでは、Xウィングの亜光速エンジンの最後のエンジンを取り付ける。左舷上翼の根元に斜めについているエンジンである。エンジンマウントの内側の端には、Sフォイルの開閉に使用される歯車装置の一部もある。

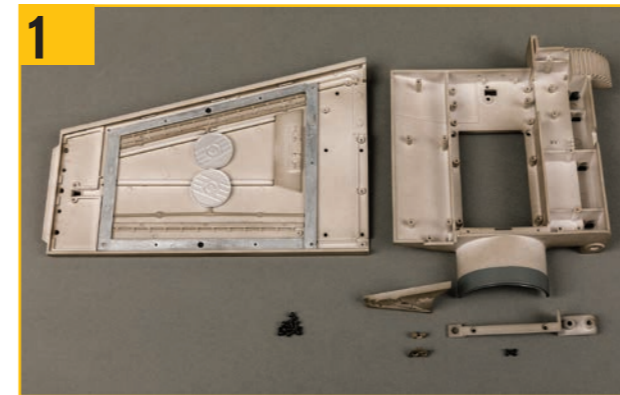
## ステージ53の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのか見てみよう。

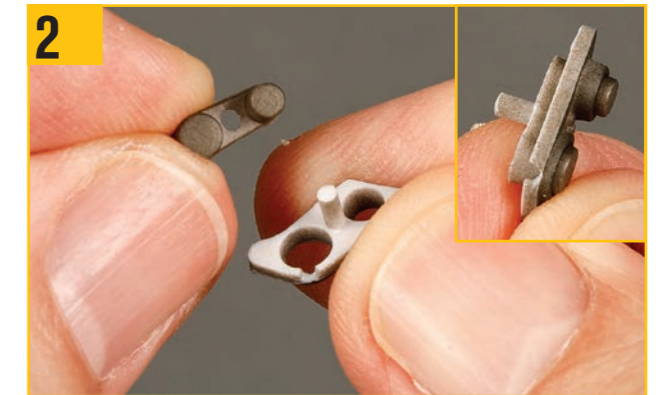


# マウントの取り付け

前縁サポートに細かいディテールパーツを追加してエンジンマウントに取り付け、前ステージまでに組み立てた翼にマウントを取り付けてく。



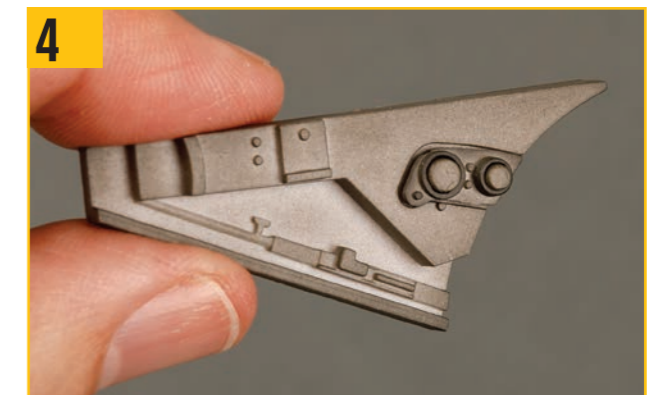
このステージで提供されるすべてのパーツと、ステージ52で組み立てた左舷上翼を用意する。



ピンと穴の位置に注意しながら、写真のように2つのディテールパーツを組み合わせる。



組み合わせたディテールパーツから突き出したピンをステップ4を参考にして位置を合わせ、前縁サポートの穴に押し込む。



押し込むと写真のようになる。



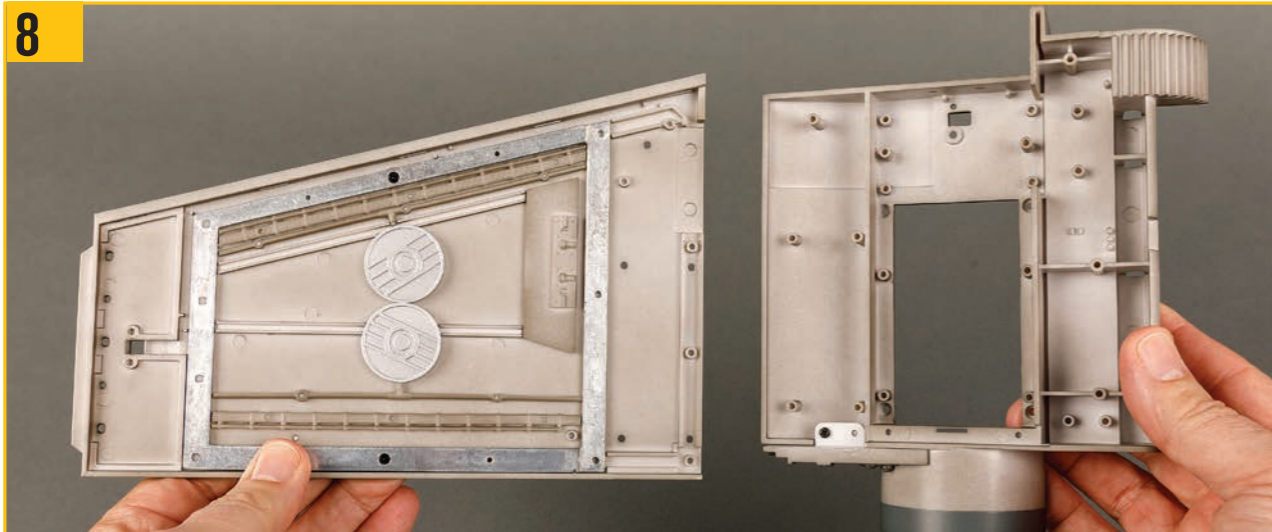
写真のようにエンジンマウントに前縁サポートの背面の取り付け金具を合わせる。



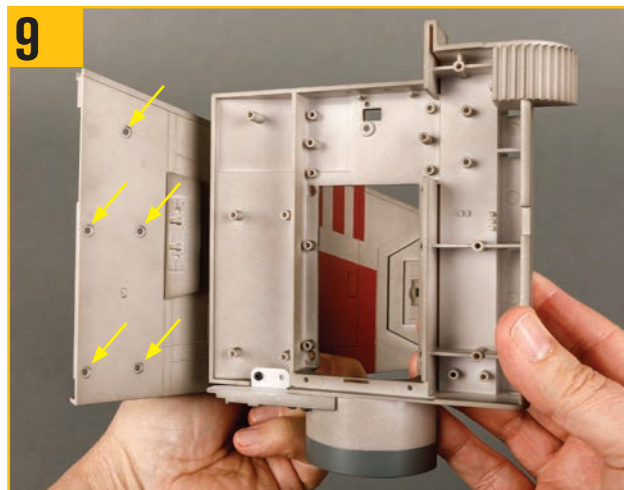
取り付け金具右側の穴を位置決めピンに押し込み、もう一方の穴を XW02ネジで固定する。



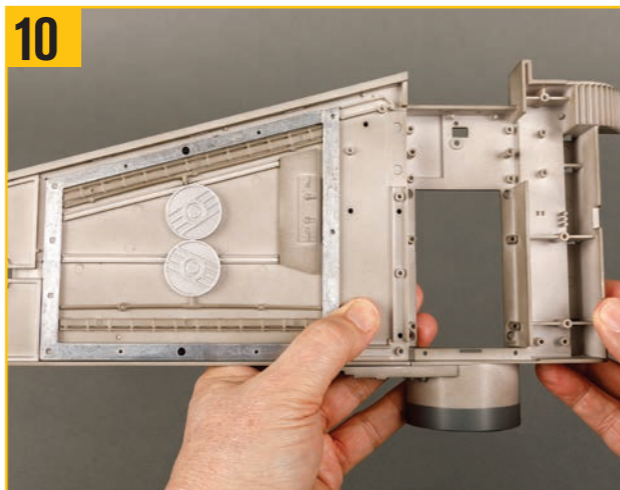
前縁サポートは写真のようになる。



翼とエンジンマウントを写真のように合わせる。



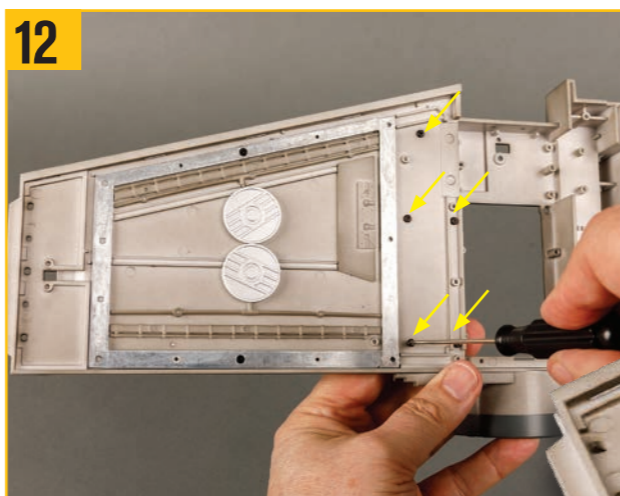
5つの穴がエンジンマウントのラグと一致するように、パーツを合わせる。



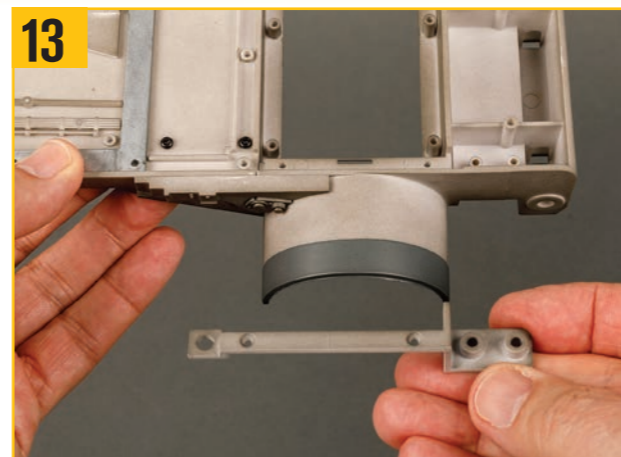
合わせると写真のようになる。



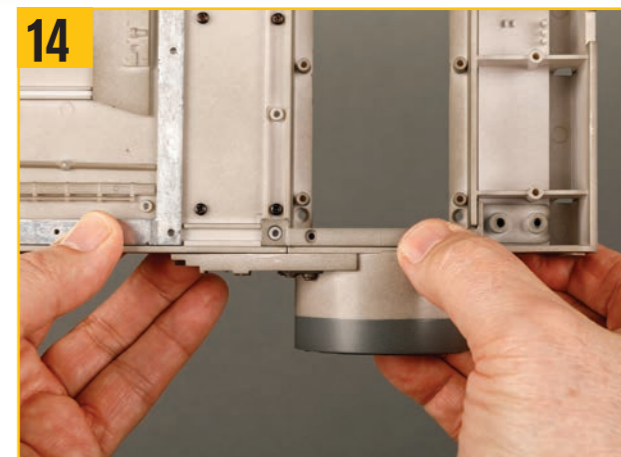
XW02ネジでパーツを固定する。



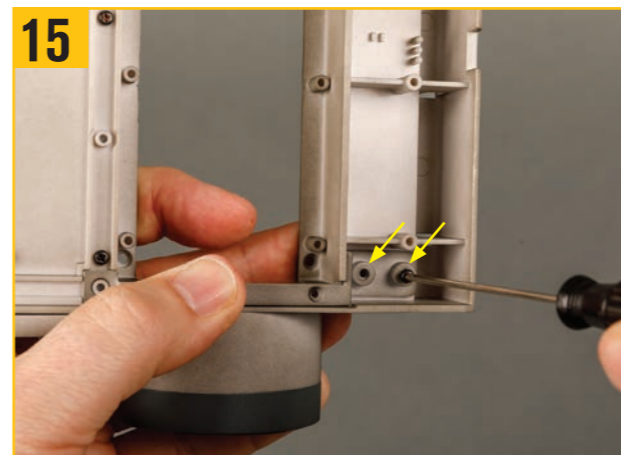
写真で示されている5つのすべての穴を固定する。



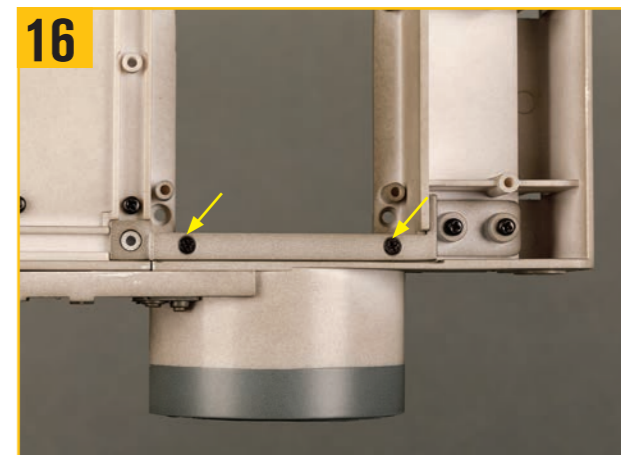
エンジンマウントブレースを左舷上翼に合わせる。



写真のようにエンジンマウントに取り付ける。

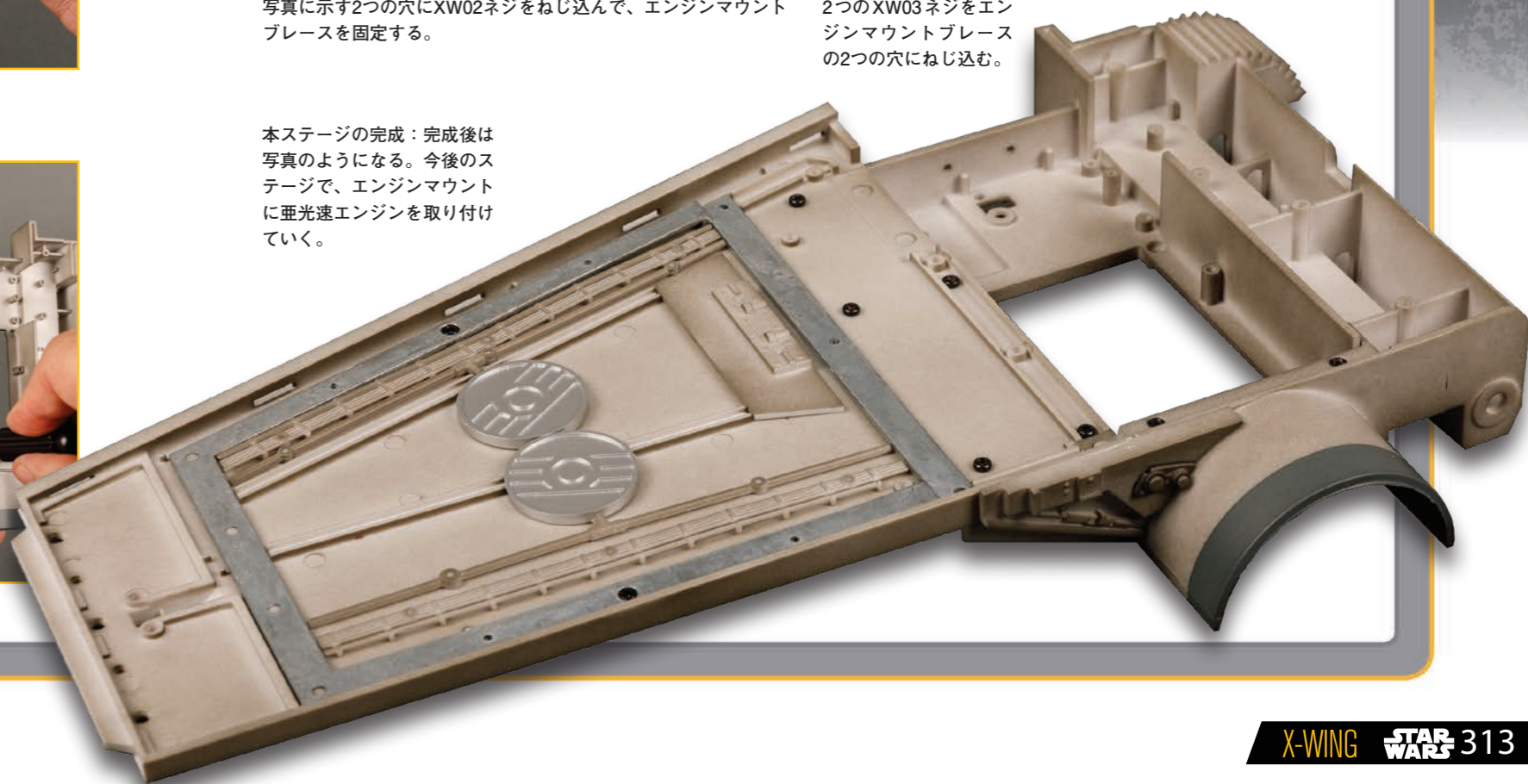


写真に示す2つの穴にXW02ネジをねじ込んで、エンジンマウントブレースを固定する。



2つのXW03ネジをエンジンマウントブレースの2つの穴にねじ込む。

本ステージの完成：完成後は写真のようになる。今後のステージで、エンジンマウントに亜光速エンジンを取り付けていく。

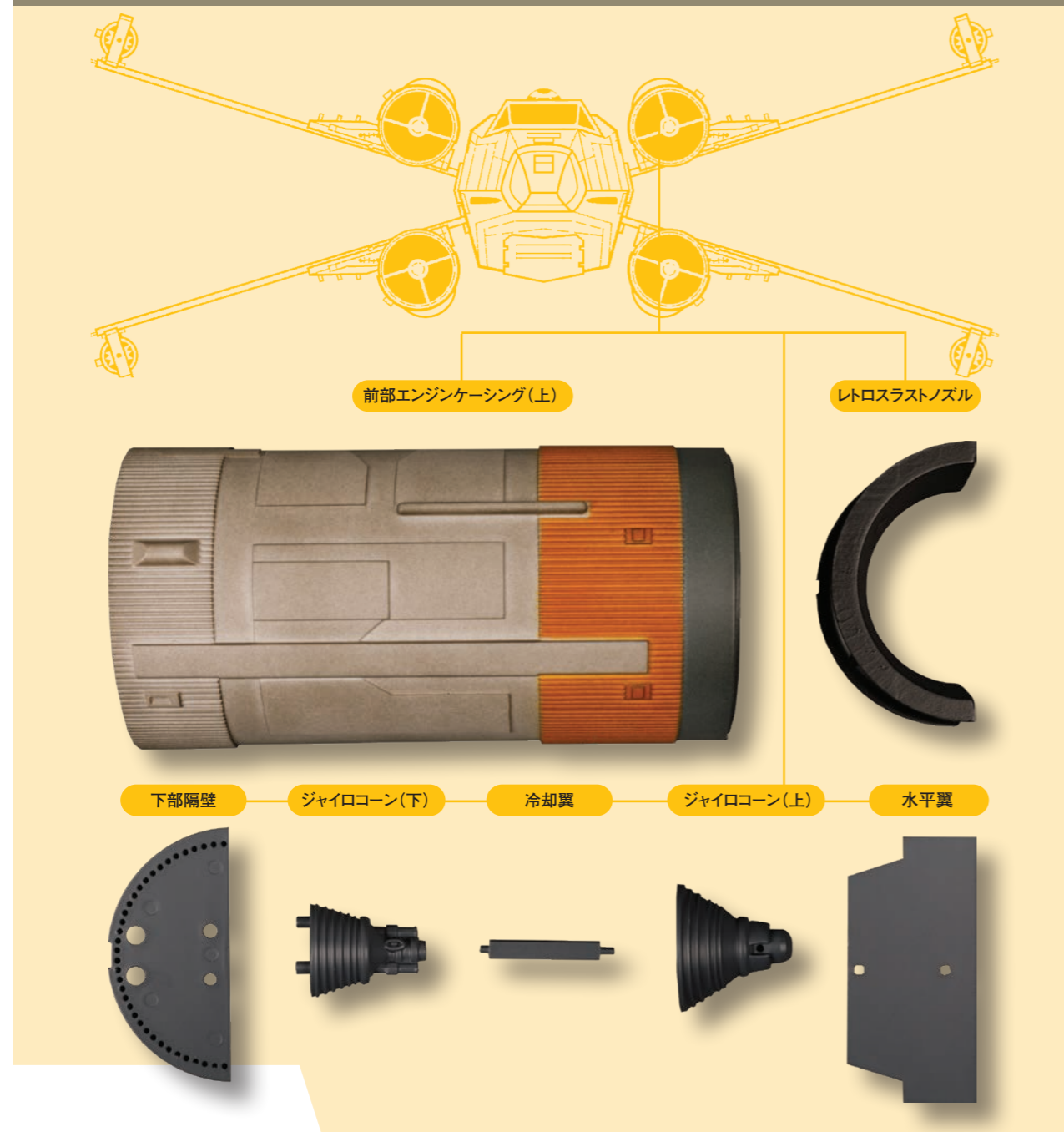


# 左舷上翼エンジン①

このステージでは、アウターケーシングと左舷上翼に取り付けられたエンジンのフロント部を組み立てる始めるパーツが含まれる。これには、フロントインテークの内側に見える翼と隔壁の5つのパーツが含まれる。

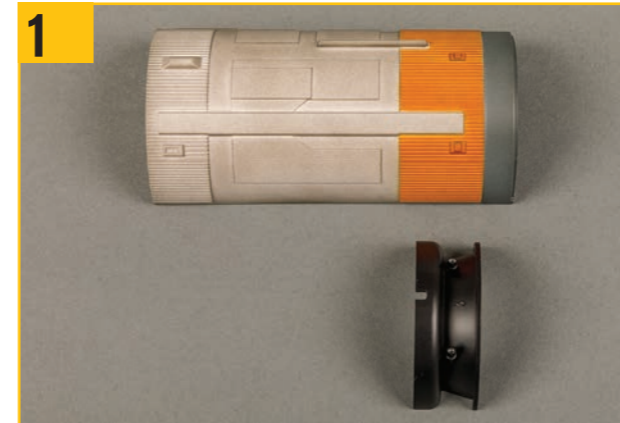
## ステージ54の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

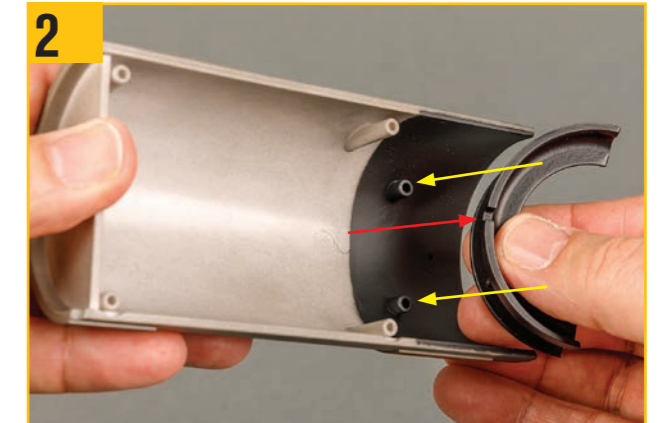


# エンジンの組み立て

本ステージで提供されるすべての部品は、ピンを穴に押し込むことで固定される。レトロスラストノズルをエンジンケーシングに正しく取り付ける。



エンジンケーシングとレトロスラストノズルを取り取る。



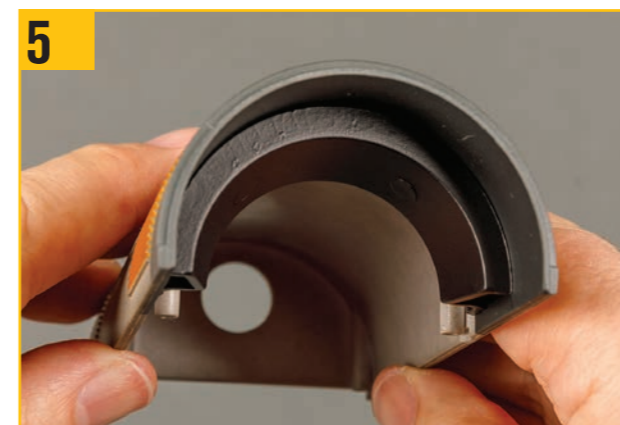
ノズルには、ケーシングの取り付け支柱穴に合う2つのピンがある。赤い矢印で示されているくぼみは内側を向く必要がある。



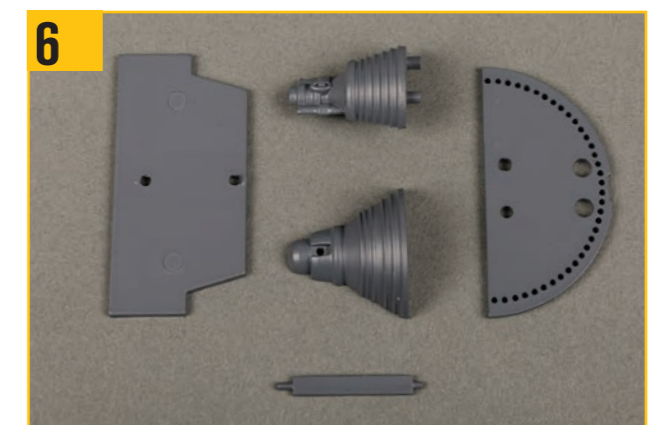
ノズルをピンに取り付ける。



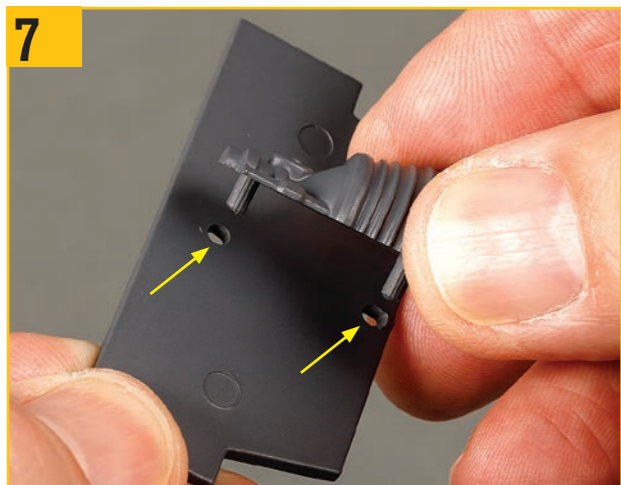
平らになるまで部品をしっかりと押し込む。



エンジンケーシングの前面は写真のようになる。



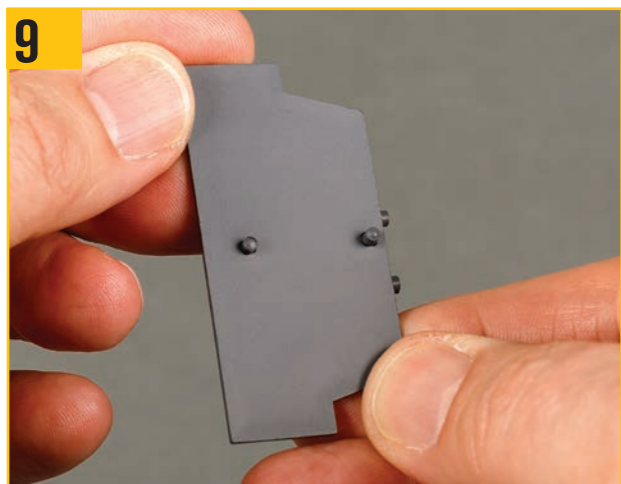
残りの5つの部品を用意する。



7 ジャイロコーン（下）のピンを水平翼の穴に取り付け、翼が正しい方向に向くようにする。



8 パーツをしっかりと押し込む。



9 ジャイロコーンのピンは、水平翼の反対側から突き出るようになる。



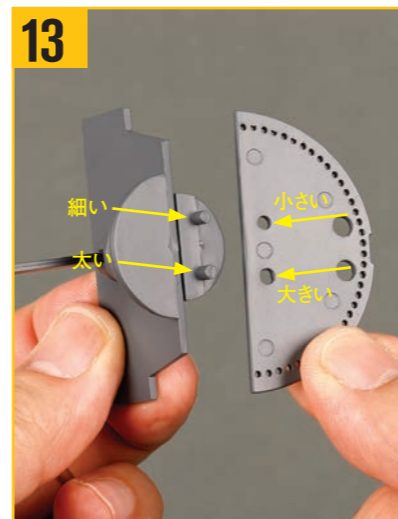
10 突き出したピンにジャイロコーン（上）を取り付ける。平らになるまで部品をしっかりと押し込む。



11 冷却翼の長い方のピンをジャイロコーンの（上）の穴に取り付ける。



12 冷却翼をしっかりと押し込む。



13 下部隔壁をジャイロコーンの上半分の2つのピンに取り付ける。

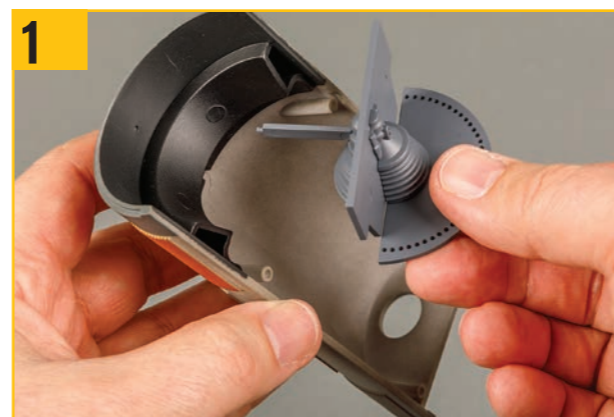


14 パーツをしっかりと押し込む。

組み立てると写真のようになる。

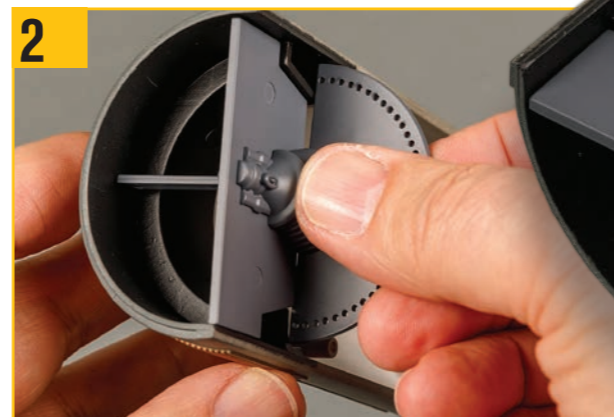


## 水平翼の取り付けテスト



1 組み立てたパーツは、写真のようにしてエンジンケーシングに収まる。

エンジンを翼に取り付ける準備はまだできていないが、作成した2つのパーツをテストする。



2 冷却翼のピンは、ケーシングの小さな穴に収まる。



これでエンジン内部が完成し、エンジンマウントに取り付ける準備ができた。

## 左舷上翼エンジン

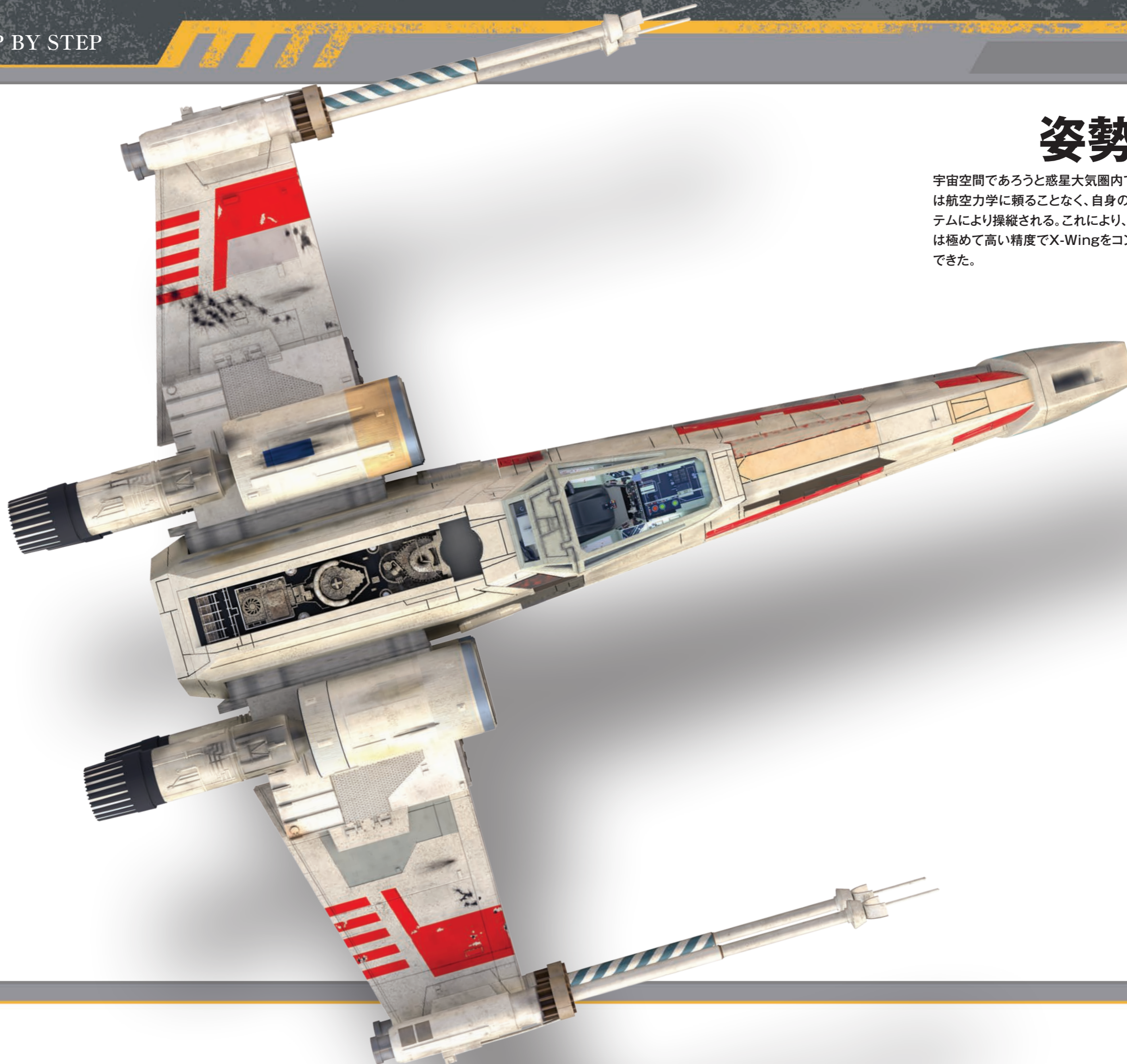
反乱軍の艦船と同様に、レッドファイブも必要な部品を様々なソースからかき集めて造られていた。そのため明らかにミスマッチな構成部分があったりする。左舷上翼エンジンケースの黄色の塗装などは顕著な例である。





## 姿勢制御

宇宙空間であろうと惑星大気圏内であろうとX-Wingは航空力学に頼ることなく、自身の持つ姿勢制御システムにより操縦される。これにより、熟練したパイロットは極めて高い精度でX-Wingをコントロールする事ができた。

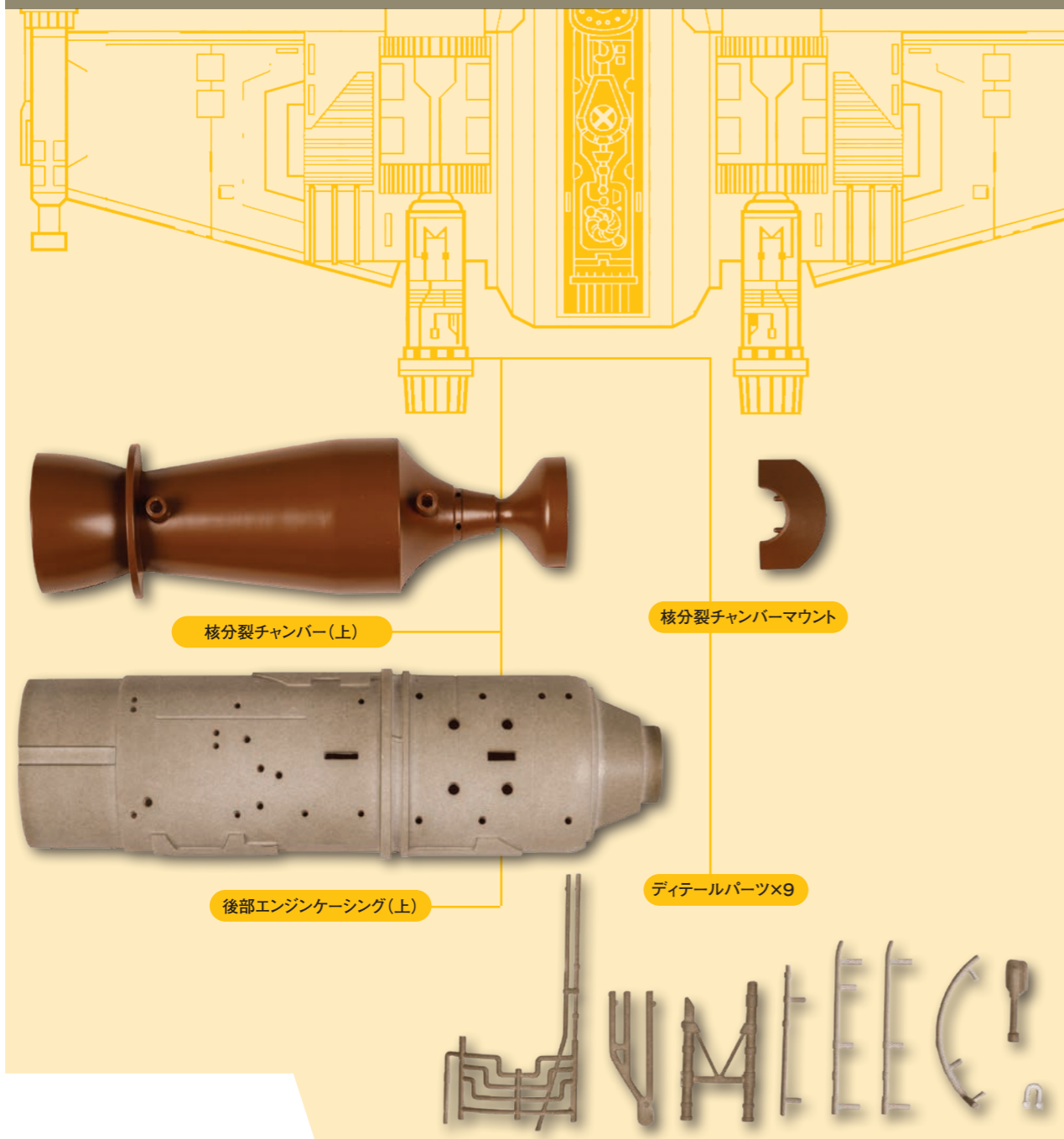


## 左舷上翼エンジン②

このステージでは、X ウィングの4つのエンジンの最後の後部に収まるフェュージアルスラストエンジンケーシングの上半分と内部に収まる核分裂チャンバーの半分を組み立てる。外装のディテールアップパーツも提供される。

### ステージ55の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウィングのどの部分を構成するのを見よう。

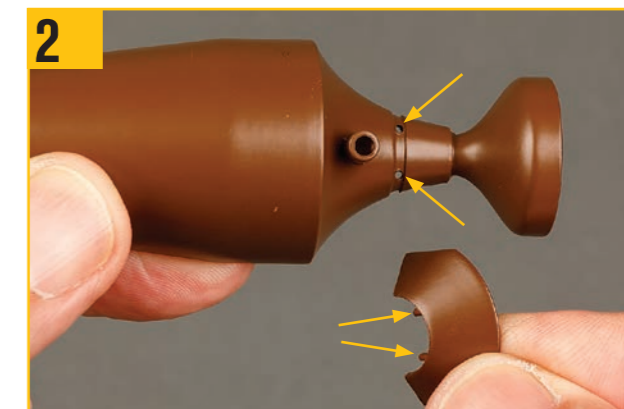


## エンジンの組み立て

提供されるすべての部品は、ピンを穴に押し込むことで固定する。325ページの写真は、配管のどの部分がどこに収まるかを識別するのに役立つ。手順に従って慎重に各パーツを特定し、どこに使用するかを確認する。



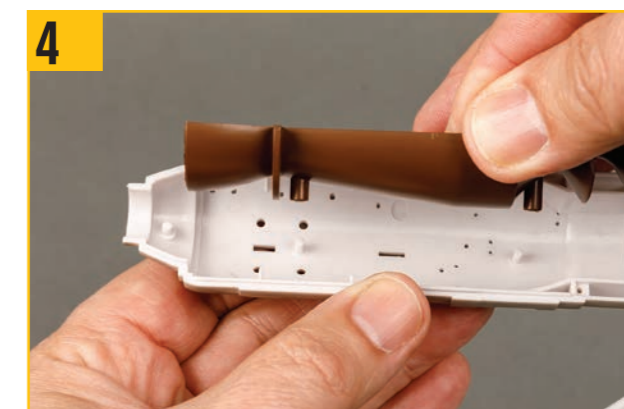
後部エンジンケーシング(上)と核分裂チャンバー、チャンバーマウント、9つのディテールパーツを用意する。



核分裂チャンバーマウントの曲線の内側の部分には、核分裂チャンバー(上)の穴に対応する2つのピンがある。



チャンバーマウントのピンをしっかりと押し込む。



核分裂チャンバー(上)には、後部エンジンケーシング内の対応するピンに対応する2つの取り付け支柱穴がある。

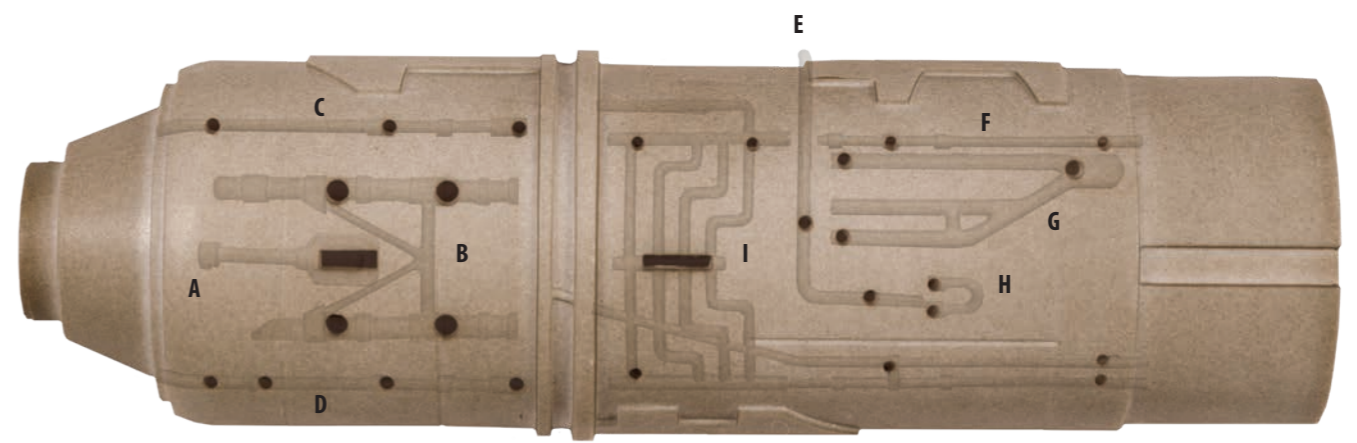
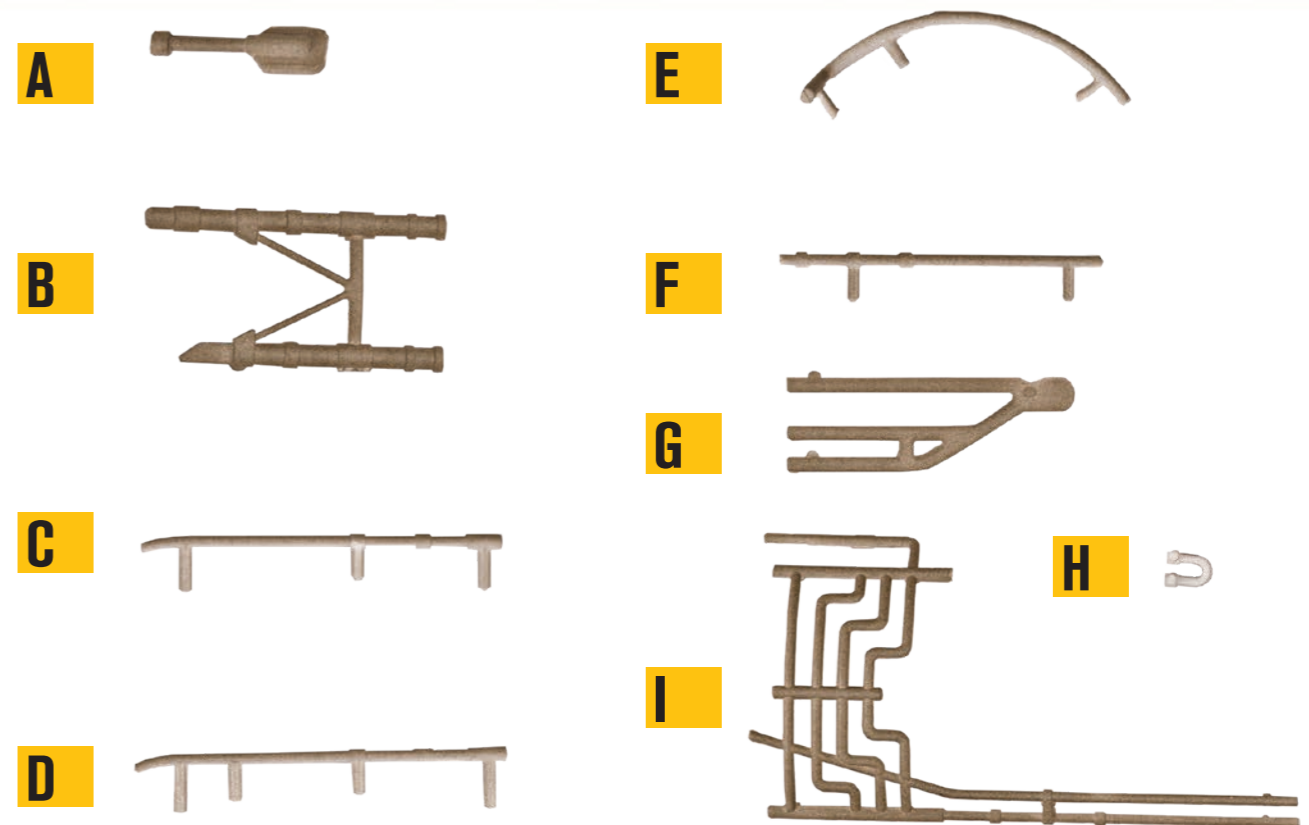
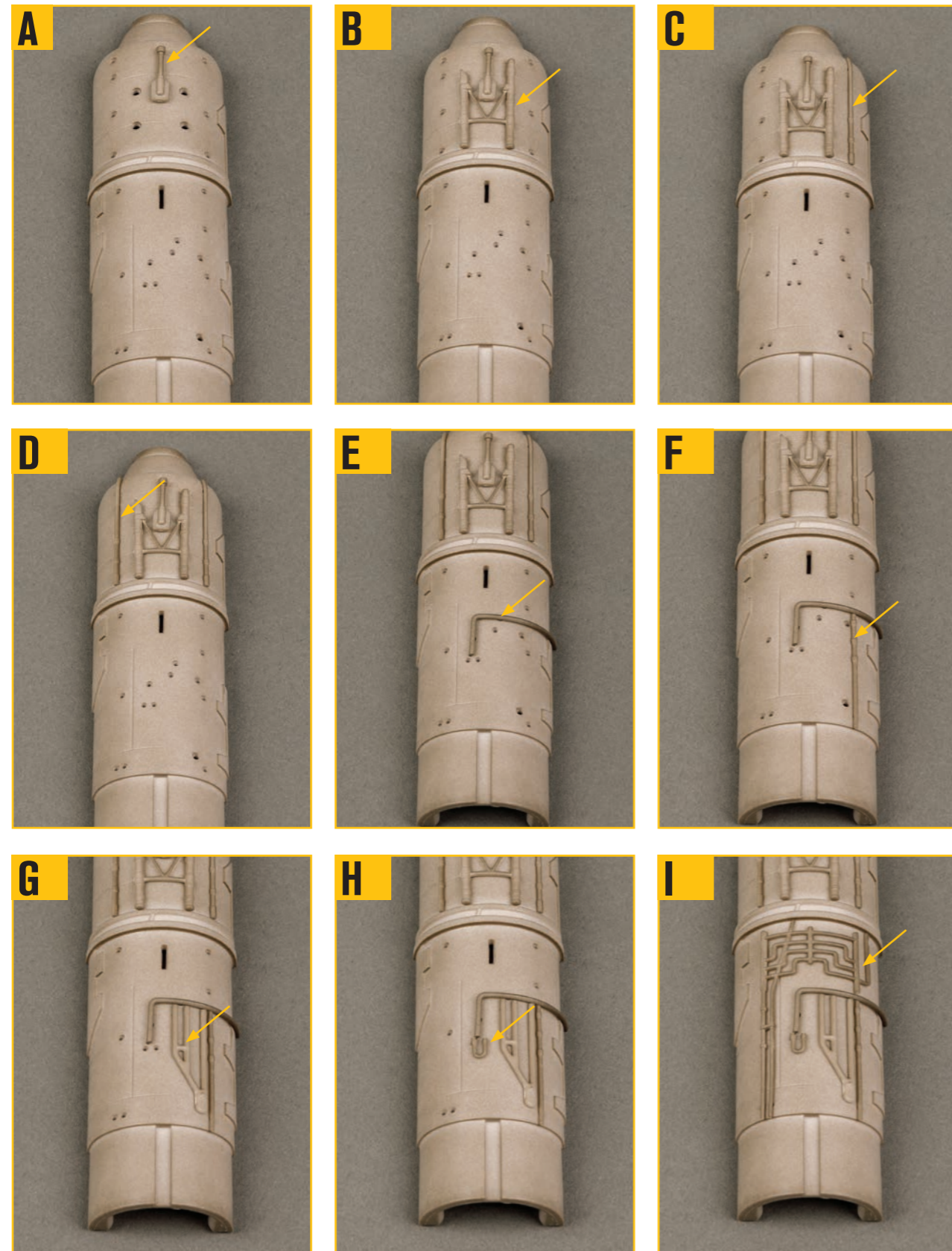


核分裂チャンバーの支柱穴をピンにしっかりと押し込む。



エンジンの内側は写真のようになる。

9つのディテールパーツを用意する。それぞれのパーツを特定し、どこに収まるかを確認するために、写真を参照し、パーツをしっかりと押し込む。



上の写真のエンジンケーシングに描かれた透かしは、ディテールパーツ(A~H)の対応する穴及びスロットを表示したものだ。

# フュージアルスラストエンジン

4L4フュージアルスラストエンジンは、インカムコーポレーションによってT-65B X-wingスターファイターで使用するために開発された。インカムコーポレーションの初期の技術では、さまざまなテクノロジーが使用されていた。たとえば、Z-95ヘッドハンタースターファイターには4つの2a核分裂エンジンが搭載されている。





## ターボインペラー

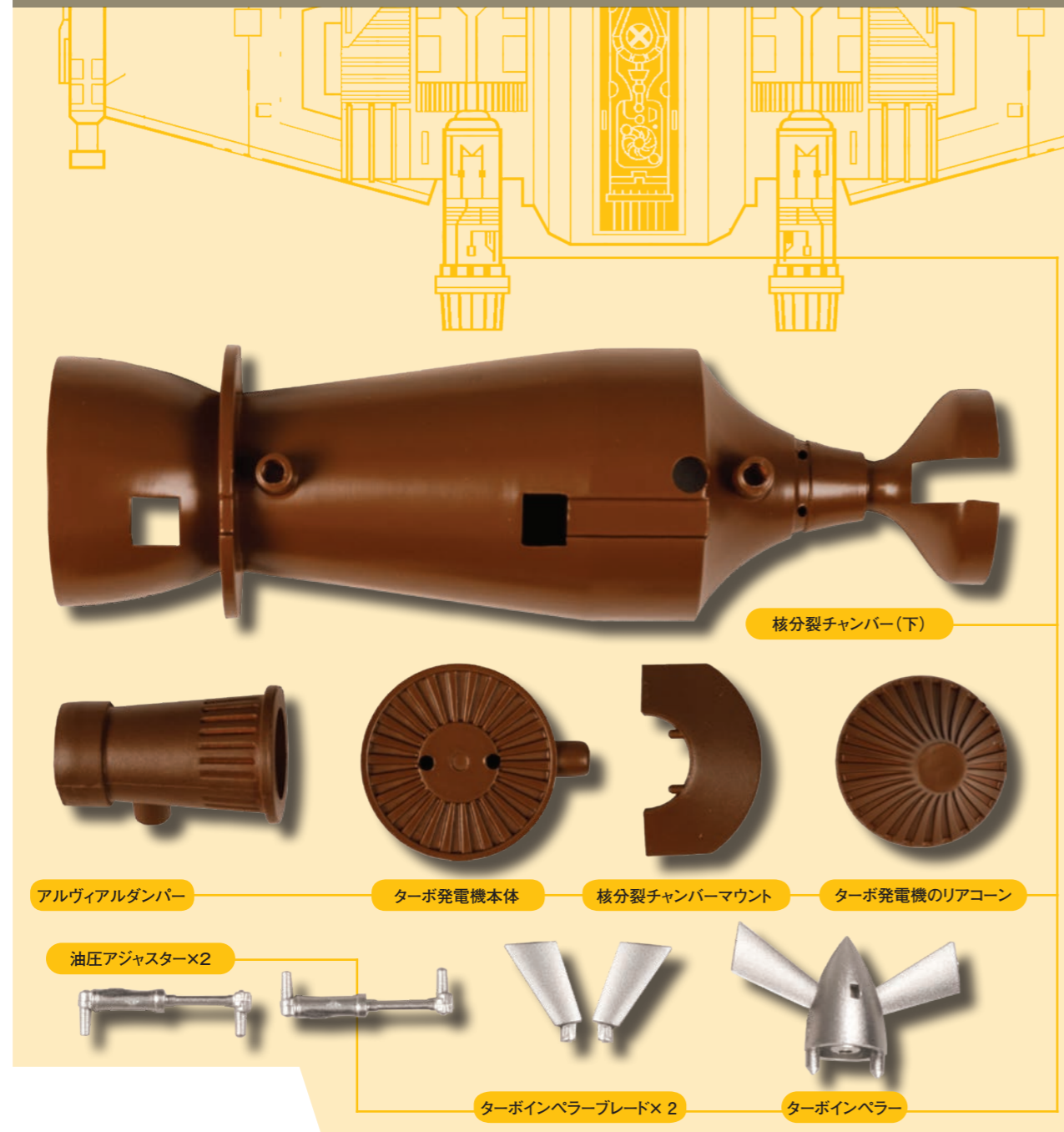
T-65Bの4つのエンジンにはそれぞれターボインペラーが搭載されている。核分裂室からの高温の排気によって回転するインペラーは、ターボ発電機のブレードを低速で運転し、スターファイターのサブライトスラストエンジンに推力を与える。

# 左舷上翼エンジン③

このステージでは、前のステージで組み立て始めた最後のフェュージアルスラストエンジンの核分裂チャンバーの上部に加え下部を組み立てる。ターボ発電機やフィン付きインペラなど、それに付随するいくつかの部品がある。

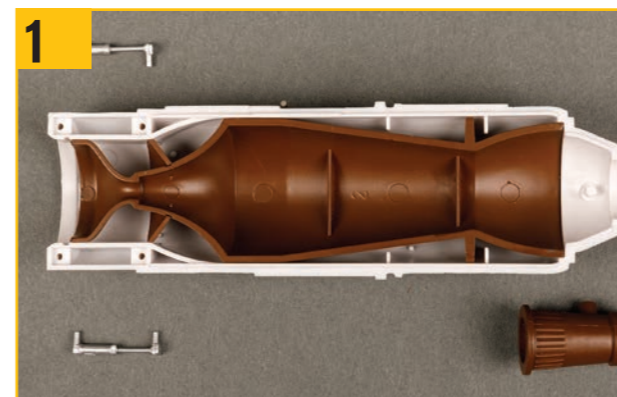
## ステージ56の提供パーツ

部品が揃っているかを確認し、それぞれがXウイングのどの部分を構成するのか見てみよう。

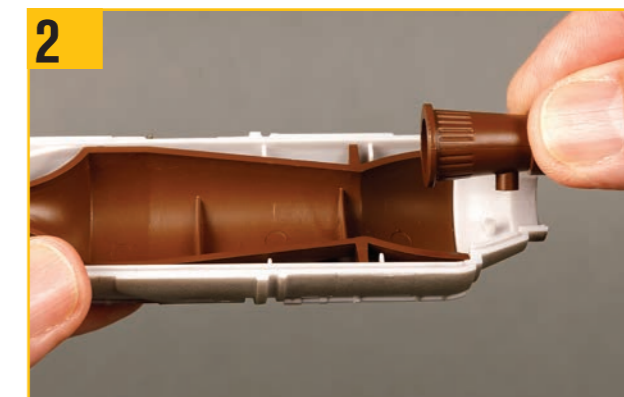


# エンジンの組み立て

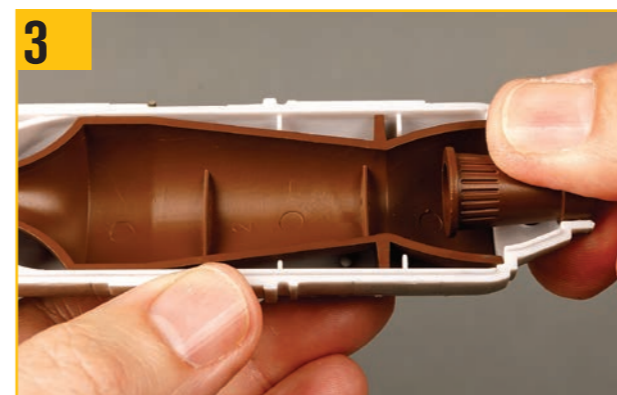
エンジン組み立ての後半部分は、用意されているすべての部品が対応するソケットに押し込みピンで固定されているため、前半と同様の方法で組み合わされる。



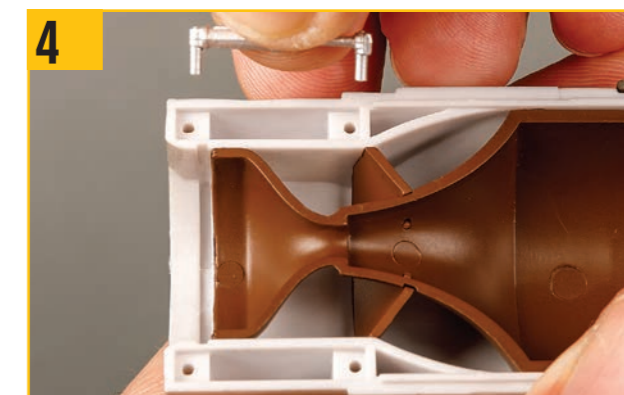
1 アルヴィアルダンパーと2つの油圧アジャスターとともに、ステージ55で作成した部品を用意する。



2 アルヴィアルダンパーには、エンジンケーシングから突き出ているピンと一致する取り付け穴がある。



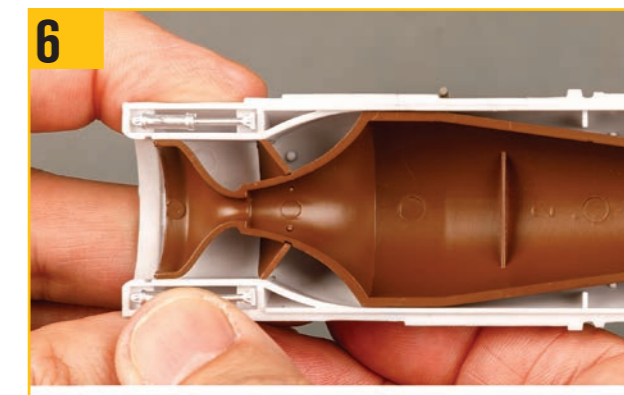
3 アルヴィアルをしっかりと押し込む。



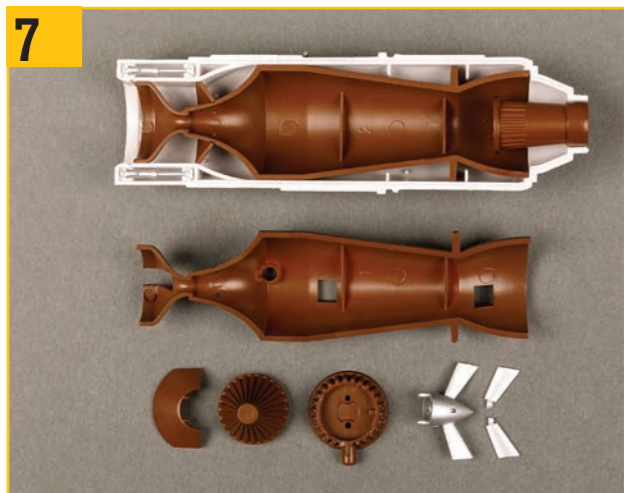
4 油圧アジャスターの2つのピンをエンジンケーシングの2つの穴に合わせる。写真のように油圧アジャスターが正しい方向になるように注意する(ステップ6を参照)



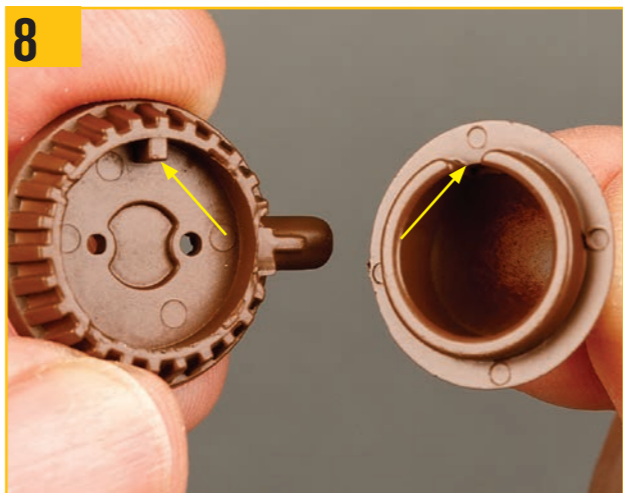
5 油圧アジャスターを穴にしっかりと押し込む。



6 同様に、2つ目の油圧アジャスターを反対側に取り付ける。エンジン内部は写真のようになる。



提供されている残りの7つのパーツを確認する。



リアコーンをターボ発電機本体に取り付け、写真示された凸部と凹部を合わせる。



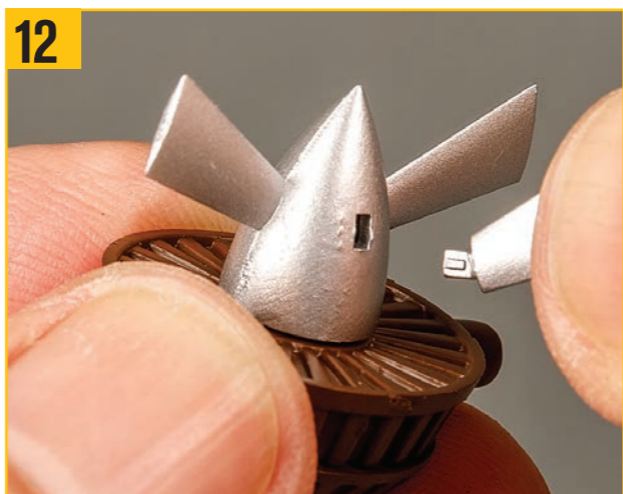
両パーツをしっかり押し込む。



ターボインペラーの2本のピンをターボ発電機本体の対応する穴に合わせる。



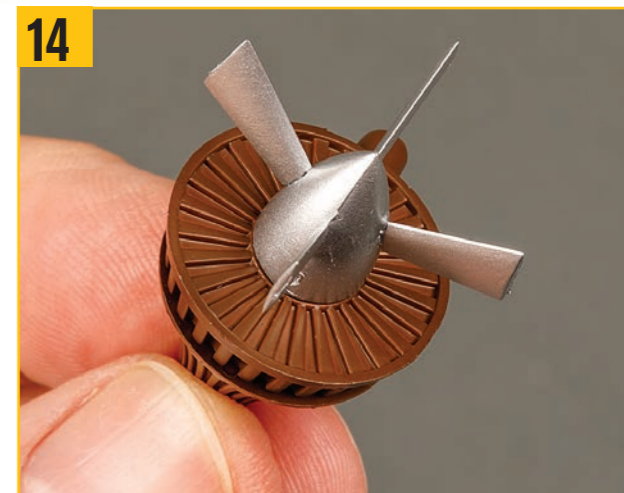
両パーツをしっかり押し込む。



インペラーブレードの1つをターボインペラーの長方形の穴に取り付ける。



もう一方のインペラーブレードを反対側に取り付ける。



組み立てたターボインペラーは写真のようになる。



核分裂チャンバーには、ターボ発電機のピンに合う鍵穴型の取り付け穴がある。



ターボ発電機を所定の位置に合わせ、しっかりと押し込む。



核分裂チャンバーマウントの2つのピンを核分裂チャンバーの環の対応する穴に取り付ける。

これでこのステージは完了である。エンジン内部を完成させ、次のステージで組み立てる。

